



法人会の理念

法人会は税のオピニオンリーダーとして 企業の発展を支援し 地域の振興に寄与し
国と社会の繁栄に貢献する 経営者の団体である



あけましておめでとうございます。亥に肖って「勇気」の一年に！

撮影 榎大武写真館 小関克郎

素直に生きよう

大雄寺 住職 金子 高幸

先日、久しぶりに仙台で食事をする機会があり、先輩と久しぶりに楽しい時間を過ごした。少しお酒が入った状態で電車に乗り込むと、相当にお酒が入ってしまったであろう若者が座席に足を上げ三人分を占領し横になっていた。手に持ったスマホも今にも落としそう、カバンの中身はすでに落ちていた。周りの乗客は迷惑そうに見ていたが、私は彼らちよほど前の座席に座り、彼はどこで下りるのかを考えていた。このままではおそらく終点まで目覚めないのではと心配してしまった。寝るのは自由だが座席を占領し、荷物を散らかせているのは困る。「私が起こさなくても」「恥ずかしい」という気持ちもある。乗客の多くがそうであろう。

電車の揺れで彼の荷物が再び落ちてしまった。私は彼を起こし荷物をカバンに入れながらどこで降りるか聞いたが、彼は「大丈夫です」と慌てて電車を降りていった。

妨げられたり、ためらう心を仏教では聖礙けいがいという。何かをしよとするとときに立ち止まってしまう心だ。新しい年を迎え、希望や夢、不安もある。「出来ない」「失敗するかも」というマイナス思考ではなく、「チャレンジ」の思考から始めましょう。日常生活の中で、ためらう気持ちやこだわりを捨て、素直な心で、こだわりに足を引っぱられずに、「まずは一歩」の足どりを進めましょう。そうすれば、「苦手なこと」や「怖いこと」は少し減るものです。

ためらう心を捨て、一人の乗客を起こすことが出来た私は、安心感からか、降車駅を乗り過ごしてしまった。失敗も素直に反省したいものです。

年頭にあって



公益社団法人仙台南法人会
会長 相澤十四男

年頭に当たり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

税務ご当局、会員の皆様方、税務関係協力団体を始めとした関係各位には日頃より法人会運営にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、我が国経済はデフレ脱却に向けた回復基調を維持したものの九月の台風二十一号や北海道胆振東部地震などの自然災害が相次いで発生し、各地に大きな被害をもたらしました。国内外を取り巻く環境が一段と厳しさを増す中で、経営の安定を図っておられる会員の皆様には改めて敬意を表します。当会も公益法人として、皆様のご協力のもと、計画通りの事業を進めることが出来ました。東日本大震災から管内三市二町では復旧復興の形が見える状況となり、とりわけ名取市閑上地区には県内初の小中一貫校が完成し、四月七日に開校を迎えました。その際、当会の受託会社であります大同生命保険(株)・AIG損害保険(株)の両社より多大な義援を頂き当会を通じて桜の木一〇〇本

を植樹する事が出来ました事は、私共の社会貢献の一端として永く学舎に刻まれることでしょうか。各支部における活動、巨

理とことん商人まつり、岩沼夏まつり、名取秋まつり等では仙台南税務署より署長始め多数の署員の方々と共に税に関する

パンフレットを配布致しました。青年部会では管内の小学六年生を対象にした租税教室の開催、地域の祭りへの出店等、女性部会では税に関する絵はがきコンクールの開催、またタオル収集を行い特別養護老人ホームへの寄贈と慰問活動を行いました。中でも租税教育活動が仙台国税局よりお認め頂き、東北六県で当会が仙台国税局長感謝状を頂きました事は、会員皆様のお力添えの賜と感謝申し上げます。人口減少と少子高齢化により、企業経営と地域経済が厳しい状況下で税収の落ち込みが懸念されている昨今、会員の皆様には年々使い易さが向上しているダイヤレ

クト納付、さらには自主点検チェックシートの普及・拡大などに引き続きご理解とご協力をお願いいたします。組織としては会員の増強を図り組織基盤を強固にして参りたいと考えておりますので、是非、部会員の紹介をお願いいたします。結びになりますが、会員皆様の企業繁栄とご健康を心より祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

仙台国税局長感謝状拝受

十一月二十八日(水)午後六時より仙台国際ホテルにおいて、仙台国税局より当会の多
税教育の推進
に対し、平成
三十年度「租
税教育推進校
等表彰制度」
仙台国税局長
感謝状を頂き
ました。



名取市制六十周年記念 自治功勞表彰受彰

九月三十日(日)午前十時より名取市文化会館大ホールにおいて、名取市より自治功勞表彰を頂きました。

表彰おめでとうございます

名取市制六十周年記念
日時 九月三十日(日) 午前十時
場所 名取市文化会館大ホール
つながりナトリ市民賞表彰
◎公益社団法人仙台南法人会
名取支部幹事 家村秀也氏
◎公益社団法人仙台南法人会
青年部会名取支部
支部長 渡辺憲明氏
今後益々のご活躍を祈念いたします。

税に関するお知らせ

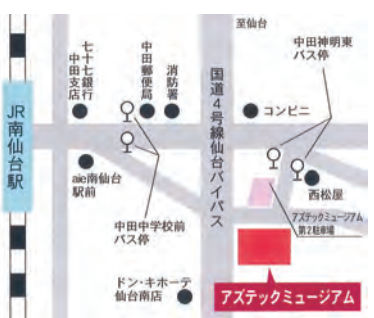
仙台南税務署では、平成三十年分の所得税・消費税・贈与税の確定申告書作成会場を次のとおり開設します。

アズテックミュージアム確定申告センター
(仙台市太白区中田町杉ノ下十八)

開設期間は、
二月十八日(月)～三月十五日(金)
※土日を除く(二月二十四日及び三月三日の日曜日は開設しません。)

受付時間は、
午前九時～午後四時
仙台南税務署には、申告書作成会場を開設しておりませんのでご注意ください。
※会場のアズテックミュージアムは、駐車可能台数が少ないため、公共交通機関等のご利用をお願いします。

なお、会場は大変な混雑が予想されます。国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で申告書を作成し、e-Tax(国税電子申告・納税システム)又は郵送等での書面による提出が非常に便利です。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。



出が非常に便利です。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

新年のご挨拶



仙台南税務署
署長 高橋 和則

新年明けましておめでとうございます。

平成三十一年の年頭に当たりまして、公益社団法人仙台南法人会会員の皆様と謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

仙台南法人会並びに会員の皆様方には、平素から税務行政の円滑な運営に對しまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

仙台南法人会におかれましては、「税務知識の普及」と「納税意識の高揚」を目的とする事業として、税理士による無料税務相談や税の啓蒙チラシの配布並びに税金クイズのほか、税に関する研修会の開催、小学校の租税教室への講師派遣、税の絵はがきコンクールや税を考える週間での行事の実施など積極的に取り組んでいただいております。改めて深く感謝申し上げます。

さて、二〇一九年十月一日に施行されます改正消費税法への対応につきまして、事業者の皆様が軽減税率制度をはじめとする改正内容を十分理解し、自ら適正な申告・納付を行っていただ

和則

けるよう、地方公共団体や仙台南法人会をはじめとする関係民間団体等の皆様と連携・協調を図りながら、着実な制度の周知・広報や相談等に取り組みまいります。

間もなく平成三十年分所得税等の確定申告の時期を迎えますが、本年もアズテックミュージアムにおいて、仙台市内三署合同の相談会場として開設する予定です。申告・相談に当たっては、自宅等からのICTを利用した申告の推進や適切な申告指導体制の構築により、一層の納税者サービスの向上に努めていくこととしております。

最後になりますが、仙台南法人会のみならず、ご発展と、会員の皆様のご繁栄の年となりますよう心から祈念いたします。新年の挨拶といたします。

ご案内

2019 新春講演会&賀詞交歓会

月日 平成三十一年一月二十八日(月)
会場 竹駒神社参集殿
時間 講演会 午後三時三十分〜
交歓会 午後五時十五分〜
演題 今後の日本経済をどう読むか
講師 経済ジャーナリスト 須田 慎一郎 氏
講演会のみは無料(事前申込必要)
交歓会費 会員 五千円
非会員 六千円

お問い合わせは仙台南法人会まで

今年(二〇一九年)の干支は「己亥の特徴だそうです。

(つちのとい)。方角では北西。時刻では夜の十時頃。季節でいえば十一(霜月)で、霜枯れで万物が枯れ切ってしまう頃です。

日本では「亥」の字は「イノシシ」を意味しますが、中国では「ブタ」を意味するそうです。日本では、猪が家畜化されて「ブタ」になったといわれています。

己(つちのと)は十千の六番目、草木が成長を終えて姿が整った状態。亥は十二支の十二番目、草や花が枯れ落ちて、植物の生命が引き継がれて種の中にエネルギーがこもっている状態です。この状態を人間や組織にあてはめると完成した自己や成熟した組織が足を固めて次の段階を目指す準備をする年となるそうです。

一方で負のエネルギーも貯め込まれますから「自分自身も不満を貯め込まない」「子どもや部下が不満を抱えていないか目配りする」ということも頭の片隅に置いておいて下さい。

亥年

亥は選挙の年です。春には統一地方選挙(四年毎)、夏には参議院選挙(三年毎)があるという十二年毎に二つの選挙が重なる年です。さて、今年(亥年)は新しい元号が始まりま

新しい風

さて、今年(亥年)は新しい元号が始まりま

亥は、「ガイ」「い」と読み、この亥は、核、つまりものごとの中心とか芯といった意味にもなります。つまり、人間で言えば、自我をしっかり持っている、何事に対しても、自信にあふれた態度で接することができる指導者タイプの人が、いのしし年の人

●広報委員会がパソコ



げんきの宅配便

(第六十一便)

笑喜感創の願い

K's Brain East 代表 今野 郁子



仙台南法人会の皆様、新年あけましておめでとうございます。一昨年より仲間

入りをさせて頂いた、ケーズブレイン・イーストの今野と申します。

弊社は「自分と未来は変えられる」をモットーに、共に育つ「共育」を提供する存在として、世の中の方々の役に立てる会社を目指し、平成十七年十二月岡山にて創業、平成二十七年五月、東日本の拠点地を仙台に設立、平成三十年五月西日本の拠点地を佐賀に設立致しました。当社の業務内容は企業研修を主とし、自分磨きのパーソナル講座や、中学・高校の職場体験前のマナー講座、結婚式を控えた新郎新婦様へ、立ち居振る舞いプライベートセミナーを開催したり、過日は某商工会女性部育成事業の一貫として、おもてなし講座を開催させて頂くなど、多種多様な要望にお応えし、務めさせて頂いております。

ります。

お客様に笑顔と喜びと感動を与える事が私達の使命であり、それが人間形成につながり、世の中を変えていく術と確信しております。

私共は依頼を承ったらず企業様へ出向き、どのような事が問題で、何を改善解決したいのかをしっかりと伺い、それぞれの企業様に合った内容でテキストを作成し、研修を行っております。例えば、ビジネスマナー研修が一過性のもものにならない様に、社会人になってこれまでの言動の振り返りや、実際にできていない事柄を気づかせる為の力リキユラムを構成し、座学と実践を行っております。



税理士会新人研修

ます。

人は年齢を重ねるにつれ、他者から指摘されたり指示される事を不愉快に感じるようになります。そこを上手に誉め悟し、一定のレベルまで引き上げます。そのために第一印象や言葉遣いの重要性、身だしなみの大切さを、視覚・聴覚に訴えます。第一印象は相手と会って2く5秒で決められてしまうので、いかに見た目が大事なのかを、Q&A方式で研修を進め、笑顔の作り方やアイコンタクトの取り方を実践しながら理解を深めて頂いています。実際に笑顔は人を楽ませたり、癒す効果があります。その笑顔を見て心が和んだり、幸を感じ喜びとなりエネルギーに変化します。エネルギーの向かう光に人様のお役に立つ知恵と力が備わり、感動へと結びつくと思っております。個々の人間が相手を思い遣る気持ちを持ち、人間力を高める事で世の中を平和にする。その担い手として携われている事に感謝し、これからも皆様方のお役に立てるように邁進させて頂きます。今後共、何卒よろしくお願ひ申し上げます。



多賀城研修



巨理町 (株)刈谷葬儀社 代表取締役 刈谷 文俊

会員の皆様こんにちは。弊社は 大正初期より大工さんの傍ら棺の製造を行い、現在の葬儀業へと移行してまいりました。時代の流れとともに住宅事情やご遺族様の負担を少しでも軽減できるように平成十二年に巨理葬祭公館水仙郷をオープンし、お陰さまで十八年目を迎えております。東日本大震災から七年、巨理町追悼式では毎年お世話させて頂き亡くなられた方のご冥福をお祈りし、一生忘れることはできません。近年、核家族化が進み家族葬や事前に葬儀のご相談にみえる方も年々増加傾向にあります。私共も葬祭ディレクター一級や葬儀事前相談員の資格を取得し、葬儀に関する悩みやご要望、費用面等の相談を年中無休にて承っております。今年、先代より社長の職を引き継ぎ尚、一層地域の皆様に必要とされる企業を目指し、ご遺族様のご負担や不安を少しでも軽減できるよう努めてまいりたいと存じます。会員の皆様には今後ともご指導をお願い申し上げます。

ですか 実の和 には



社長のリーダーシップは、あまりに自分の「我」にこだわった時から崩壊が始まる。

厳しい経営環境の中で、一国一城の主となり、社員とその家族、取引先など関係者の命運を背負って勝ち続けなければならぬのだから、自我が人一倍強いに決まっている。

しかし、自我が強過ぎるのはワンマンへの道であり、行き着くところはリーダーシップの崩壊でしかない。

この時、問題になるのが2つの「我」の落とし穴である。①我執、②我がもの、のこだわりである。

我執というのは、「オレでなければ、この会社は動かしいけない」「オレが出ていかなければまとまらない」「オレがいなければ何も進まない」といった強いこだわりである。

社長が強い信念を持つのは大切なことであるが、あまりに全能感にとらわれると、思わぬミスをし、せっかく築いた城を落城させてしまいかねない。また、会社は自分のもの、と私物

経営コンサルタント
村田 信夫

化するのも社員の士気を低下させ、会社をダメにする。

社長が公私混同すれば、下はこれを見習い、会社はたちまち傾く。

これらの「我」が現れたら、社長のリーダーシップは危機に直面し、音を立てて崩壊する。

社長のリーダーシップは、歳をとつたり、弱気になつたりして、後ろを向き始めた時、崩壊期に入っていく。

その兆候は、次の3つの症状によって判定できるだろう。

①社長が二言目には「あの頃はよかった」と昔を懐かしむ話し方になつたら、弱り目を自覚し、前に進むのが容易でなくなつたのである。

②社長が「とにかく、このやり方がいいんだ」と方法論に固執するようだと、世の中の変化に対応できなくなつてきているのである。

③社長が「危ない橋は渡るな」と口癖のように言うようになると、もう進取の気風を失つたものである。

社長にこれらの症状が見えたら、幹部は、既に社長交代期が過ぎてしまったも同然であるが、今からでも遅くない、若手の後継者を立てることを考えるべきである。

過去の栄光、思い出にふけていられるほど優雅な経営環境ではないことを老社長に知ってもらわなければならぬ。それを単なる感情で、「あなたは古

い」「時代遅れ」の言葉でやり込めるのは逆効果で、若い実力者が、先見性の豊かな分析と、科学的で合理的な数字を挙げて、冷静にきつちりと説明する方がよい。

創業者自身、かつては危ない橋の二つや三つは渡ってきたから、今日の成功をもたらしたのであるのに、その苦難の過去を忘れて、危ないことをすると言ふのは、安全策に逃げ込めということであり、もはや前進を考えない負けの姿勢である。

実業家には常にリスクが付きものである。まして、新し事業やプロジェクトを展開していくためには、危ない橋も渡らなければならない。

老リーダーでなくても、若いのに社長になつた途端、専守防衛の経営に回つてしまうタイプの人がいるが、老リーダーが逆に叱咤激励して、先進的な仕事に立ち向かうように仕向けたい。

リーダーがいつまでもトップに座つているため、老害が生じてリーダーシップが崩壊する例も少なくない。

老いによる三悪として、①頑固度が進み忠告などに耳を傾けなくなる、②こだわりの度合いが増す、③不決断になる、が指摘されている。

自分は大丈夫だと思つていても、やはりリーダーとしての能力は劣つてくるものだ。それを認めたがらず、頑固に徹することによって、どんな思わしくない事態を招来するか知るべきなのである。

お元気
美名実
こんにち



巨理町
(株)クロサキ自動車
総務課主任
橋元 愛

法人会員の皆様、新年あけましておめでとうございます。

弊社は巨理町で自動車整備・販売を営んでおります。昭和五十二年に創業して、今年四十三目を迎えます。現在のショールーム兼事務所が完成したのは、平成元年のこと。ショールームから見える田園風景は当時から変わることはありませんが、車離れや電気自動車の普及など車を取り巻く環境は日々変化してきました。昭和から平成そして新元号へと時代は変わっていきますが、創業以来、自動車の販売や車検、整備などを通じて、いつの時代も地域の皆様に育てていただきました。

弊社のサービスの原点は「お役立ち精神」です。これからも、時代と共に変化していく、お客様から喜ばれる価値を追求し、地域から親しまれ愛される会社をめざし、従業員一同努力していきたいと思

います。
今後、ご指導ご鞭撻のほどよろしく願いたします。

美名実 活動 Photo レポート

決算法人説明会

十一月六日

(火) 午後一時
三十分より太白
区中央市民セン
ター大会議室に
おいて決算期を
十・十一・十二



月に迎える法人を対象に「決算法人説明会」を開催いたしました。申告書を作成する上での基礎的な知識の研修会を行い、その後、来年の十月から実施される消費税軽減税率制度とダイレクタ納付についての説明がありました。当日は一般の方も含め二十五名のご参加をいただきました。

仙台太白支部

社会貢献事業

十月二十七日(土)「第十五回太白山登山道清掃&親睦芋煮会」が開催されました。当日は、雨の為太白山登山道清掃は中止となりましたが、あいにくの天気にもかかわらず二十名が親睦

税務研修会

十一月十六日(金) 午後五時から太白区・いとう会館において、

ご来賓に仙台南税務署長高橋和則氏を迎え、講師に仙台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官長内昌己氏を招き、「消費税軽減税率制度について」と題して税務研修会を行いました。来年十月から消費税が改正されることになり、統括から直接、説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。



芋煮会へご参加をいただきました。来年も宜しくお願いいたします。

名取市財政研修会

十月三日(水) 午後二時三十分から名取市商工会館において

「名取市の財政状況と今後の行方」と題して名取市商



無料税務相談会

十一月三日(土) 文化の日に「ふるさと名取秋まつり」が名取市民体育館前広場において開催されました。

当日は、税理士による税の無料相談会や仙台南税務署の皆さんと共に小学生を対象とした「一億円レプリカ」の重さ体験、税の啓蒙チラシ等の配布を行いました。



工会と共催で研修会を開催いたしました。講師に名取市総務部財政課財政係長針生大輔氏をお招きし、名取市の現在と今後の財政状況について説明していただきました。出席者からの質問にも丁寧に答えていただき有意義な研修会となりました。

税務研修会

十一月三十日(金) 午後五時から名取市・末廣寿司分店において、ご来賓に仙台南税務署副署長田中攻紀氏を迎え、講師に仙台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官長内昌己氏を招き

「消費税軽減税率制度について」と題して税務研修会を行いました。来年十月から消費税が改正されることになり、統括から直接、説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。

岩沼支部

税務研修会

十一月二十九日(金) 午後五時から岩沼市・竹駒神社参集殿において、ご来賓に仙台南税務署副署長田中攻紀氏を迎え、講師に仙台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官長内昌己氏を招き「消費税軽減税率制度について」と題して税務研修会を行いました。来年十月から消費税が改正されることになり、時おりユーモアを交え説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。

「消費税軽減税率制度について」と題して税務研修会を行いました。来年十月から消費税が改正されることになり、統括から様々な事例とともに説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。



巨理支部 社会貢献事業

十月二十五日（木）午後四時から巨理町しらかし通りにおいて、毎年恒例となっており「しらかし通りクリーンアップ作戦」を巨理ロータリークラブ、巨理高校の皆さんと一緒にいたしました。夕方にもかかわらず、合わせて約100名の参加をいただきました。



無料税務相談会

社会貢献事業の一環として「わたりトコト」商人まつりが十月二十八日（日）巨理町五日町商店街において開催されました。当日は、税理士による



税の無料相談会や仙台南税務署の皆さんと共に小学生を対象とした「税金クイズ」「一億円レプリカ」の重さ体験、税の啓蒙チラシ等の配布を行いました。

税務研修会

十一月十九日（月）午後五時から巨理町・田園において、ご来賓に仙台南税務署長高橋和則氏を迎え、講師に仙台南税務署法人課税第一部門統括国税調査官長内昌己氏を招き「消費税軽減税率制度について」と題して税務研修会を行いました。来月十月から消費税が改正されることになり、一括から直接説明を聞く事が出来、貴重な時間を過ごすことができました。



青年部会

全国青年の集い「岐阜大会」

十一月九日（金）、長良川国際会議場において第三十二回法人会全国青年の集い「岐阜大会」が開催されました。当法人会青年部より十六名が参加しま

した。大会式典ののち『今私たちにできること』未来のために』と題して女優の今紺野美沙子氏の記念講演が行われました。



租税教室開催

青年部会、女性部会・本部の皆さんが講師となり、仙台市立上野山小学校（9/28）、巨理町立荒浜小学校（11/13）、名取市立館腰小学校（11/30）、名取市立下増田小学校（12/4）、名取市立那智が丘小学校（12/7）、巨理町立



吉田小学校（12/12）の六校の小学六年生を対象に「租税教室」を行いました。手作り教材とDVDを使用しながらクイズ形式で授業を進め、最後にケースの中から一億円（レプリカ）を取り出すと興味津々に触れていました。講師の皆様へ感謝いたします。

名取支部親睦ボウリング大会

毎年恒例となっている名取支部会社対抗親睦ボウリング大会が十月二十六日（金）スターボウル名取店で一〇五名の参加の下行われました。皆様から沢山の商品のご協賛をいただきました。ありがとうございました。ありがとうございました。



女性部会

移動視察研修会

九月二十七日（木）、毎年恒例の視察移動研修会が十二名の参加のもと開催されました。今年は、山形東村山郡の「オリエンタルカーペット」へ手織

りの「山形緞通」の視察と東根市の蔵屋敷を利用して郷土料理を提供している「梅ヶ枝清水」を訪れました。



未使用タオル贈呈

今年も「タオル収集のお願い」を申し上げましたところ、皆様からのご厚志により約一〇〇〇枚のタオルが集まりました。



この未使用タオルを特別養護老人施設「みやま荘（山元町）、赤井江マリンホーム（岩沼市）・第二日就苑（亘理町）、松陽苑（名取市）」の四箇所にて女性部会員・役員とともに寄贈いたしました。いずれの施設の皆様にも大変喜んで頂きました。

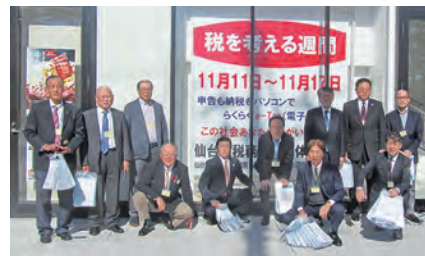


皆様のご協力に感謝申し上げます。引き続き未使用タオル収集を行いますので、ご協力のほどお願い申し上げます。

税を考える週間

街頭キャンペーン

十一月四日（日）『ララガーデン長町』一階正面入り口、二階・三階連絡通路において、仙台南税務関係団体協議会傘下の団体として「税を考える週間」の啓蒙活動としてチラシ配布等を行いました。



仙台南税務署長講演会



十一月二十六日（月）岩沼・竹駒神社参集殿において仙台南税務関係団体協議会と共催

で「税を考える週間」の特別講演として「税金に関する、こんな話」と題して仙台南税務署長高橋和則氏を講師に迎え講演会を行いました。当日は会員・一般の方も含め五十余名のご参加をいただきました。

税制陳情報告

当法人会では、仙台北法人会・仙台中法人会と共に十一月二十八日（水）に郡和子仙台市長、仙台市議会議長へ税制改正要望の陳情を行いました。

また、十二月十一日（火）には村井嘉浩宮城県知事、宮城県議会議長、税制改正要望の陳情を行いました。



セミナーのご案内

◎業績向上の条件
講師 ニュークリエイトマネジメント 代表 長井 三郎 氏
日時 一月十六日（水） 午後一時三十分～四時三十分
場所 青葉区・戦災復興記念館

◎お客様の怒りを笑いに変える！
クレーム対応セミナー
講師 クレームコンサルタント 谷 厚志 氏
日時 二月十三日（水） 午後一時三十分～四時三十分
場所 青葉区・戦災復興記念館

お問い合わせは仙台南法人会まで

編集後記

仙台南法人会員の皆様、明るく穏やかな新年を迎えたことお慶び申し上げます。本年も宜しくお願ひ申し上げます。「人生には自動ドアなんてありません。押すにはちよつとためらうドアもある。開かないドアも、カギのかかったドアもある。でも開けることで、その先が見えるなら、自分で開いていくしかありません」新しい元号に変わる今年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。
(広報委員 佐藤 正人)

仙台南法人会では広報誌「せんだい美名実」の設置場所の提供を求めています。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

広告募集中

当法人会では広報誌「せんだい美名実」など発送時に同封するチラシ折込広告を募集しております。お気軽にお問い合わせ下さい。(但し、広告内容によっては、要望に添えないことがあります。) 規格はA4版。一枚につき二十円(手数料込)

せんだい美名実 第309号

発行所 公益社団法人 仙台南法人会
〒982-0014 仙台市太白区大野田二丁目 番四八号
レジデンス王ノ壇二〇二号
☎ 〇二二-二四六-三六一四
FAX 〇二二-二四六-四五二〇
E-mail: info@nhanho.com
発行人 会長 相澤 十四男
編集 広報委員 会